「権力犯罪」を問え

小出裕章（京都大学原子炉実験所助教）

3.11インタビュー
原発ゼロを求めて

福島第一原子力発電所の事故は、原発を推進してきた歴代自民党政権に最大の責任がある。今も10万を超える人々が故郷を追われ、1千万人近くが「放射線管理区域」とも言うべき汚染地域に住まわされている。

年間被ばく量の上限が20ミリシーベルトというこの区域は、私のような原子力に携わる者しか入ってはならない。しかし、非常事態を理由に法令が変えられた結果、同じぐらいの汚染地域で子どもが遊んでいるという、事態が生じている。

これほどの大事故を起こしながら、歴代自民党政権のトップは誰一人責任を取っていない。東京電力は何十回倒産しておかしくないほどの負債を抱えているのに、大株主の大銀行が損をしないよう今も潰されず、幹部たちは莫大な退職金を手にしてのうのうと暮らしている。

町工場が毒物を垂れ流したらどうなるか？　経営者は罪に問われ、営業は続けられなくなるだろう。原発事故でそうならないのは、「権力犯罪」だからだ。事故の責任が問われないとなると、他の原発の安全対策に悪影響を及ぼす。東電を倒産させ、安倍首相をはじめとする歴代自民党政権関係者や、歴代東電役員たちの刑事責任を問うべきだ。

安倍政権は「安全性を確認した原発から再稼働する」と言う。政府、民間、東電、国会の4つの事故調査機関が報告書を出したが、事故原因は今も分かっていない。原因が分からないのに、どのようにして事故防止対策を立てるというのか。

原発の推進は権力犯罪であり、未来への犯罪である。運転で生じる「死の灰」は今後何百万年間も閉じ込め管理する義務を生じさせる。何の選択権も持たない未来の人々に危害を押し付ける愚行は、これ以上続けるべきではない。

こいで・ひろあき
1949年東京生まれ。70年の女川原発反対闘争を機に、伊方原発裁判、JCO臨界事故など、一貫して、原発や核燃料サイクルの危険性を訴える住民の側に立ち、研究を行っている。

4月度生涯研修抄録

新世代のCAD／CAMとメタルフリー修復

中村隆志（大阪大学歯学研究科顎口腔機能再建学准教授）

最近では、患者の審美性に対する要求が高まり、単に機能を回復するだけでなく、歯冠色をもつ補綴処置が望まれるようになった。一方、歯科用金属材料の価格が高騰し、金属に代わる材料が求められている。このような時代の要求に応えるものが、セラミックスやレジンだけでクラウンやブリッジを製作するメタルフリー修復であろう。

セラミックスは、天然歯に近い色調や透過性を再現できる半面、煩雑で長時間を要する技工操作が不可欠であった。21世紀になり、歯科用CAD／CAMシステムが応用されるようになるとセラミックスの加工が大幅に省力化された。さらに、セラミックスとしては極めて高い強度と靭性をもつジルコニアが使用できるようになったのもCAD／CAMシステムの進歩の賜物である。

一方、従来のレジン系材料は、セラミックスほど強くはなく、クラウン・ブリッジでは主に前装用材料として使用されてきた。クラウン・ブリッジ用のレジンは手作業で築盛、重合されていたが、工場で重合して作製した高品質のブロックをCAD／CAMシステムで加工する方法が開発され、破折しにくいレジンクラウンを製作することが可能となった。また、新規に開発されたCAD／CAM用のレジンは従来の硬質レジンに比べ、強度や靭性に優れ、ガラスセラミックスをしのぐ物性をもっている。

このような背景のもとで、歯科用CAD／CAMシステムにより加工した小臼歯のレジンクラウンが保険導入されることになった。今回の講演では、歯科用CAD／CAMシステムの変遷、さらにCAD／CAMにより製作したセラミックスやレジンのクラウン・ブリッジの基礎と臨床を中心に述べていきたい。

※日時等行事案内参照

リレーエッセイ　あの日あの頃　292

ダイビングせえへんか？

伊良波　淳（堺市）

「伊良波、一緒にダイビングせえへんか？」

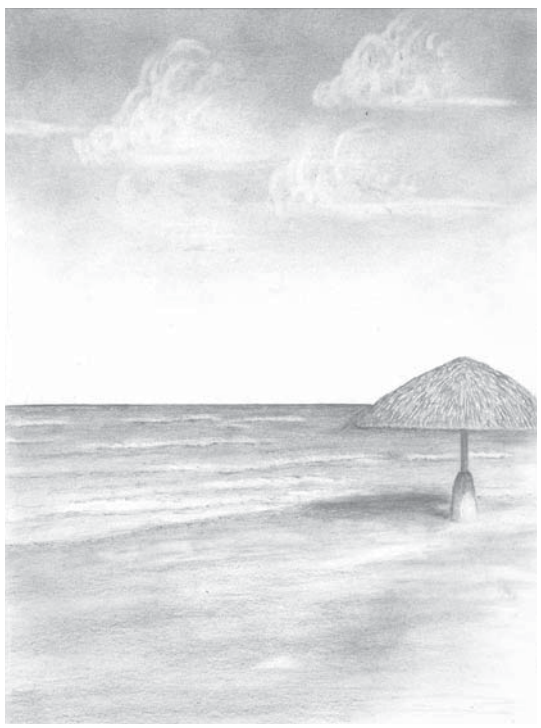
大学3年か4年の頃であっただろうか。同級生の1人からかけられたこの言葉が、今も続く彼との付き合いの始まりだったのかもしれない。

父の田舎が沖縄だったこともあり、小学生のときにはよく沖縄へ家族で旅行をした。那覇の祖父母の家に泊まり、叔父の事を借りて家族でビーチへ出かけたが、カナヅチの私は、浅瀬で一日中浮き輪を使ってプカプカ浮いているだけであった。もともと色白の私にとって、全身を真っ赤に焼く沖縄のあの〝殺人光線〟は耐え難く、あまりいい思い出は無かった。

唯一、記憶にあるのは海中で見た原色の魚たちである。浅瀬で見ることができたのは、数も種類も多くはなかったが、ダイビングを誘われた時、カナヅチでも、もっと多くの魚が見られるのではないかとの想いが頭をよぎった。大学5年の夏に沖縄の慶良間に潜った時のあの感動は今でも忘れられない。

結婚して3人の娘に恵まれ、家族5人でよく沖縄へ旅行する。娘たちは私に似ず泳ぎが上手だ。泳ぎでは不甲斐ない父親ではあるが、成長した娘たちとダイビングであの沖縄の海の中の光景を見ることが私の夢である。

学生時代にダイビングに誘ってくれた友人とは、今も週に一度同じ診療所で顔を会わせる。もう四半世紀以上の付き合いになる。彼のあの誘いの言葉がなければ、こんなに長く続かなかっただろう。ありがとう。そしてこれからもよろしく。



絵　藤田　進（河内長野市）

伊良波先生ありがとうございました。次回、4月15日付は孫弘樹先生（東住吉区）にバトンタッチされます。

協会行事案内

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

お申し込みは　電　話　06-6568-7731　ファクス　06-6568-0564

2014歯科診療報酬改定「新点数中央説明会」

日時　3月23日（日）
午前の部　午前10時15分～午後0時30分
《会員限定》
午後の部　午後1時15分～3時30分
《スタッフ参加可》
会場　御堂会館（南御堂）大ホール（中央区久太郎町4-1-11）
講師　社保研究部・政策部各講師団
会費　会員無料（資料1冊は、「入場・資料引換ハガキ」と交換）
未入会者1万円
※午前・午後とも内容は同じです

2014歯科診療報酬改定「新点数地区説明会」

講師　社保研究部・政策部講師団
会費　会員無料、未入会者1万円
※『2014年改定の要点と解説』をご持参ください（3月25日頃に発送予定）

・北大阪地区
日時　3月27日（木）午後6時45分～9時
会場　千里ライフサイエンスセンタービル6F

・堺高石和泉地区
日時　3月29日（土）午後7時～9時
会場　サンスクエア堺

・北部・東部地区合同
日時　3月29日（土）午後6時30分～8時30分
会場　AP大阪駅前地下2階

・北河内地区
日時　3月30日（日）午後6時30分～8時30分
会場　OMMビル2階

・西部・南部地区合同
日時　3月30日（日）午後6時～8時
会場　M&Dホール

・南河内地区
日時　4月5日（土）午後6時～8時
会場　天王寺・竹澤ビル9階セミナールームA

・三島地区
日時　4月6日（日）午前10時～正午
会場　高槻市立生涯学習センター

・東大阪八尾柏原地区
日時　4月12日（土）午後6時45分～8時45分
会場　東大阪市立市民会館5階5会議室

・泉州地区
日時　4月12日（土）午後7時～9時
会場　浪切ホール

4月度生涯研修

新世代のCAD／CAMとメタルフリー修復

日時　4月27日（日）午前10時～午後1時
会場　M&Dホール　**定員**　100人
講師　中村隆志氏（大阪大学歯学研究科顎口腔機能再建学准教授）
会費　会員3千円、未入会者1万円

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です
※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。